

令和4年1月25日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

議案

番号	件名	主管課
2	山口県文化財保護審議会委員の任命について	社会教育・文化財課

報告事項

番号	件名	主管課
1	令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について	学校安全・体育課
2	令和3年度山口県スクールソーシャルワーカー採用選考試験の結果について	学校安全・体育課

議案第2号

山口県文化財保護審議会委員の任命について

山口県文化財保護審議会条例（昭和50年山口県条例39号）第2条第2項の規定により、山口県文化財保護審議会の委員を別紙のとおり任命する。

令和4年（2022年）1月25日

山口県教育委員会

山口県文化財保護審議会委員

任期: 令和4年2月1日～令和6年1月31日

	氏名	勤務先等	担当	任命
委員	藤田 盟児	奈良女子大学生生活環境学部教授	建造物（社寺等）	再任
委員	中川 明子	徳山工業高等専門学校准教授	建造物（近代）	再任
委員	清水 重敦	京都工芸繊維大学教授	建造物（町屋等）	再任
委員	井手誠之輔	九州大学人文科学研究院教授	絵画	再任
委員	副島 弘道	大正大学文学部名誉教授	彫刻・工芸品	再任
委員	尾崎 千佳	山口大学人文学部准教授	書跡・典籍	再任
委員	秋山 伸隆	県立広島大学人間文化学部名誉教授	古文書・歴史資料・史跡（中世）	再任
委員	木部 和昭	山口大学経済学部教授	古文書・歴史資料・史跡（近世）	再任
委員	木下 尚子	熊本大学文学部名誉教授	考古資料・史跡	再任
委員	佐古 和枝	関西外国語大学英語国際学部教授	考古資料・史跡	新任
委員	谷部 真吾	山口大学人文学部准教授	有形民俗文化財・無形民俗文化財	新任
委員	多々良美春	日本庭園学会会員 日本造園学会会員	名勝	再任
委員	奥田 敏統	広島大学大学院 統合生命科学研究科教授	天然記念物（植物）	再任
委員	堀 学	山口大学大学院創成科学研究科教授	天然記念物（動物）	再任
委員	坂口 有人	山口大学大学院創成科学研究科教授	天然記念物（地質）	新任
委員	安野 早己	山口県立大学国際文化学部名誉教授	一般	再任

○山口県文化財保護審議会条例

〔昭和50年12月26日
山口県条例第39号〕

改正 平成17年 3月18日条例第26号

山口県文化財保護審議会条例をここに公布する。

山口県文化財保護審議会条例

(設置)

第1条 文化財保護法(昭和25年法律第214号)第190条第1項の規定に基づき、山口県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に山口県文化財保護審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(平17条例26・一部改正)

(組織)

第2条 審議会は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、教育委員会が任命する。

3 特別の事項を調査審議するため必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

4 臨時委員は、教育委員会が任命する。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 臨時委員は、当該特別の事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によつてこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集する。

2 会議の議長は、会長をもつて充てる。

3 会議は、委員及び議事に関係のある臨時委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員及び臨時委員の過半数をもつて決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、山口県教育庁において処理する。

(その他)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について、必要な事項は、会長が審議会に諮つて定める。

附 則

この条例は、昭和51年1月1日から施行する。

附 則(平成17年条例第26号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

報告事項 1

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

学校安全・体育課

1 調査名

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

2 調査の概要

- (1) 調査主体 スポーツ庁
 (2) 調査期間 令和3年4月～令和3年7月末（学校ごとに期日を設定）
 (3) 調査内容

調査対象	○ 国公立の小学校5年生 ○ 国公立の中学校2年生
調査方式	○ 対象学年の全児童生徒を対象に全国悉皆調査
調査事項	○ 実技 ・ 小学校8種目 ①握力、②上体起こし、③長座体前屈、④反復横とび、⑤20mシャトルラン、⑥50m走、⑦立ち幅とび、⑧ソフトボール投げ ・ 中学校8種目 ①握力、②上体起こし、③長座体前屈、④反復横とび、⑤持久走または20mシャトルラン、⑥50m走、⑦立ち幅とび、⑧ハンドボール投げ ※中学校持久走：男子1500m、女子1000m ○ 質問紙調査 ・ 児童生徒質問紙（運動習慣、生活習慣） ・ 学校質問紙（子供の体力向上に係る学校の取組等）

- (4) 備考 ・本調査はH20年度から悉皆調査として開始
 ※H22・24年度は抽出調査、H23・R2年度は調査中止
 ・各実技テストの結果を10点満点で換算し、「体力合計点」（合計80点満点）として表記
 ・全国数値については、国公立学校の児童生徒が対象、山口県数値については、公立学校の児童生徒が対象

3 調査学校数及び児童生徒数

校種	区分	調査学校数	調査児童生徒数（人）		
			男子	女子	合計
小学校	R3山口県	271	5,607	5,435	11,042
	R3全国	19,213	527,253	503,977	1,031,230
中学校	R3山口県	139	5,161	4,812	9,973
	R3全国	10,153	500,670	475,954	976,624

4 児童生徒の体力の状況

(1) 各種目結果

校種	性別	区分	握	上	長	反	2	持	5	立	ハン	体
			力 (kg)	体 起 こ し (回)	座 体 前 屈 (cm)	復 横 跳 び (回)	0 m シャ トル ラン (回)	久 走 (秒)	0 m 走 (秒)	ち 幅 跳 び (cm)	ソ フト ボ ール 投 げ (m)	
小学5年生	男	R1山口県	15.7	18.9	31.5	41.0	51.4		9.5	149.6	21.2	52.2
		R3山口県	15.5	18.1	31.6	39.9	49.3		9.5	149.6	20.2	51.3
		R3全国	16.2	18.9	33.5	40.4	46.9		9.5	151.4	20.6	52.5
	女	R1山口県	15.5	18.4	36.2	39.8	43.4		9.7	142.9	13.1	54.5
		R3山口県	15.3	17.5	35.8	38.4	41.1		9.7	143.3	12.9	53.5
		R3全国	16.1	18.1	37.9	38.7	38.2		9.6	145.2	13.3	54.7
中学2年生	男	R1山口県	27.6	25.9	41.5	51.6	85.7	395.5	8.1	189.7	19.6	40.3
		R3山口県	27.7	25.5	41.9	52.1	84.1	401.4	8.0	193.3	19.7	40.6
		R3全国	28.8	25.9	43.6	51.2	79.5	407.2	8.0	196.3	20.2	41.1
	女	R1山口県	23.2	23.2	44.3	47.4	61.0	288.2	8.9	167.6	12.8	49.5
		R3山口県	22.8	22.1	44.5	46.7	57.6	294.5	8.9	166.4	12.4	48.2
		R3全国	23.4	22.2	46.2	46.3	53.9	298.3	8.9	168.0	12.6	48.4
体力要素	筋力	○	○					○	○	○		
	柔軟性			○								
	敏捷性				○			○				
	持久力		○			○	○					
	調整力				○					○	○	

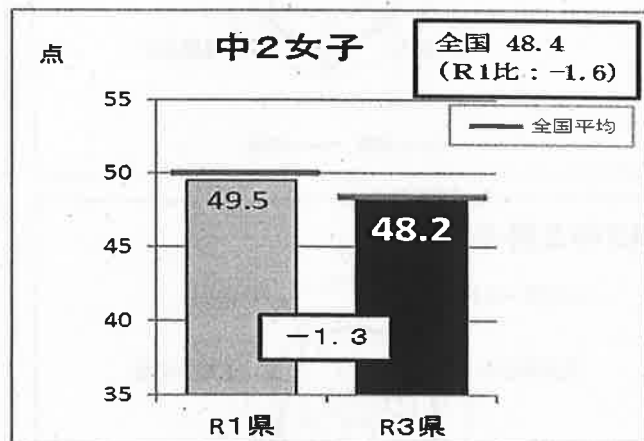
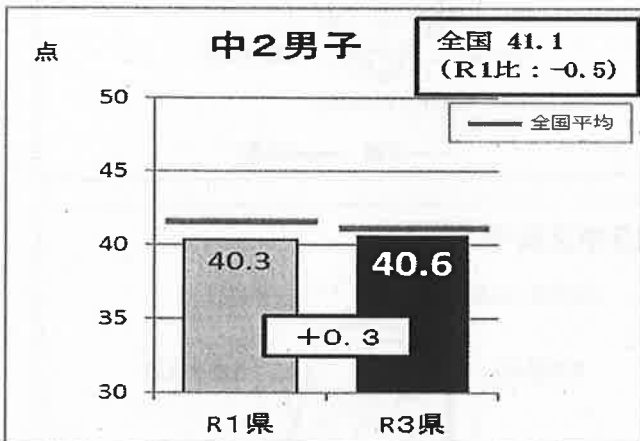
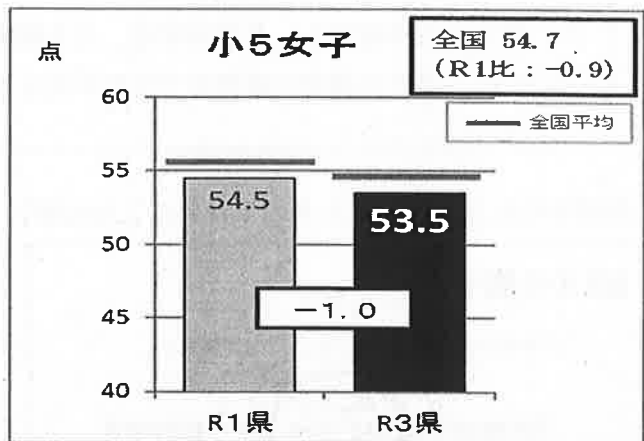
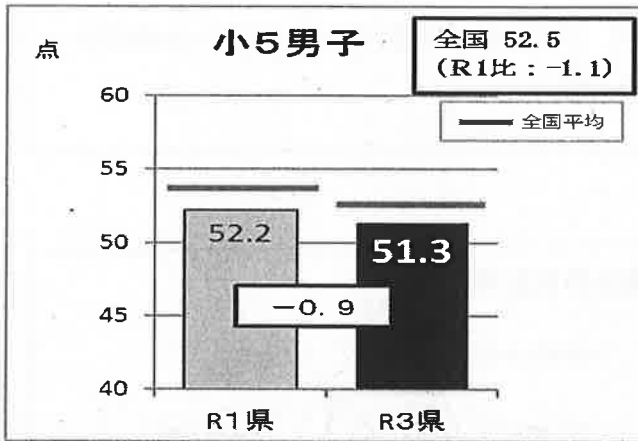
※ 中学生は「20mシャトルラン」または、「持久走」のどちらかを選択して実施

※ 「ソフトボール投げ」は小学生、「ハンドボール投げ」は中学生

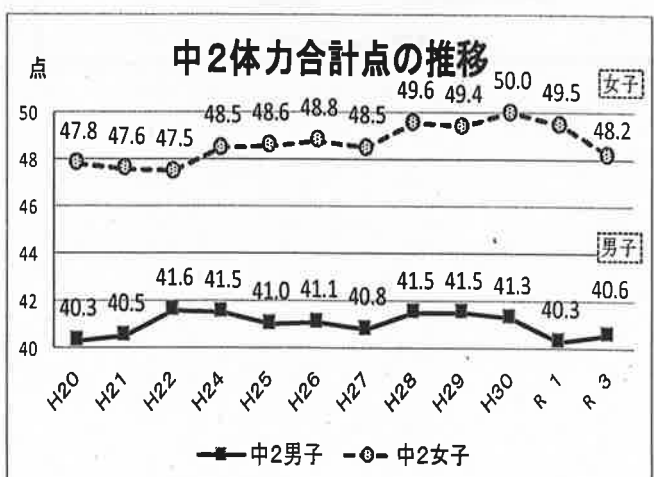
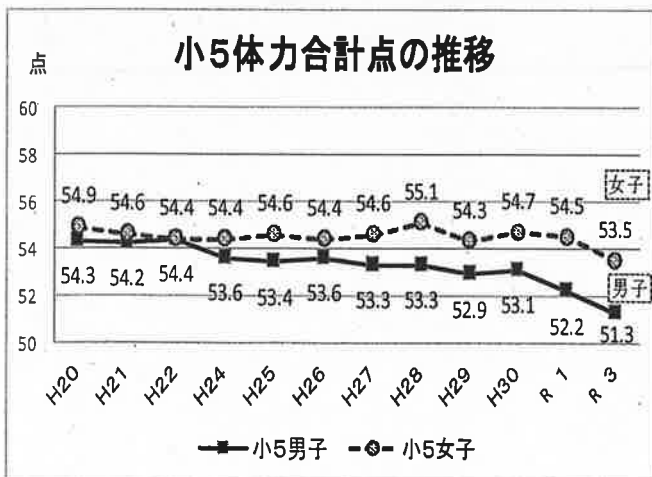
(2) 体力合計点

- 体力の総合的な指標である「体力合計点」は、全国平均と比較して、全ての調査対象学年で下回った。
- 本県の「体力合計点」は、令和元年度の記録と比較して、中2男子は上回ったが、小5男女、中2女子は下回った。
- 小5男女の「体力合計点」は、平成20年の調査開始以来、過去最低値となった。

【令和元年度及び全国平均との比較】



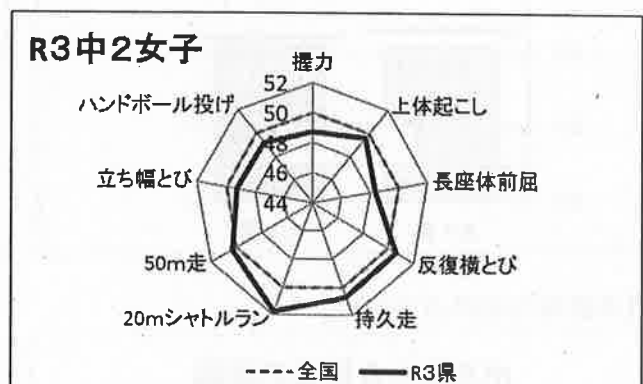
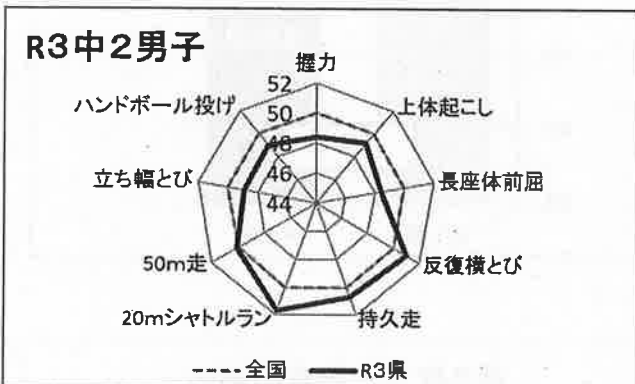
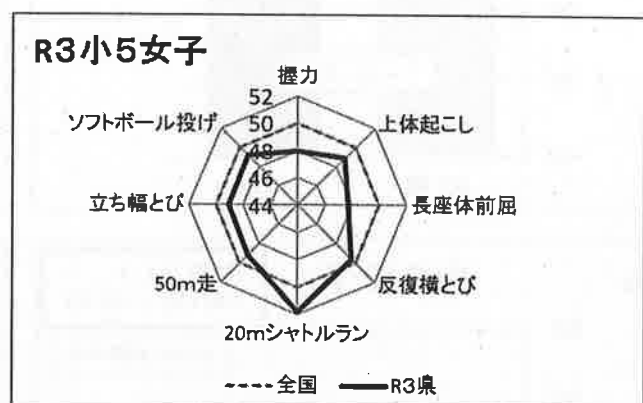
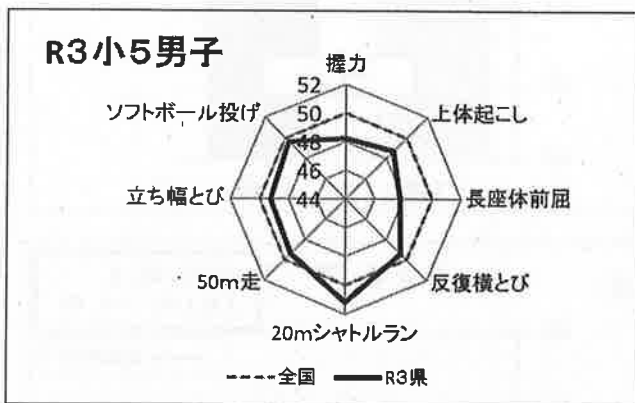
【本県体力合計点の推移】



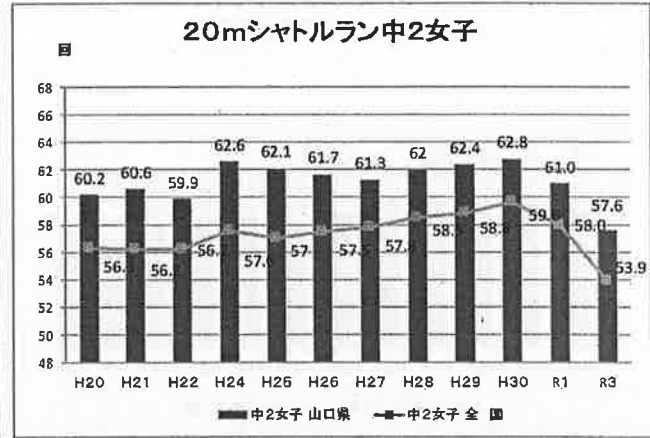
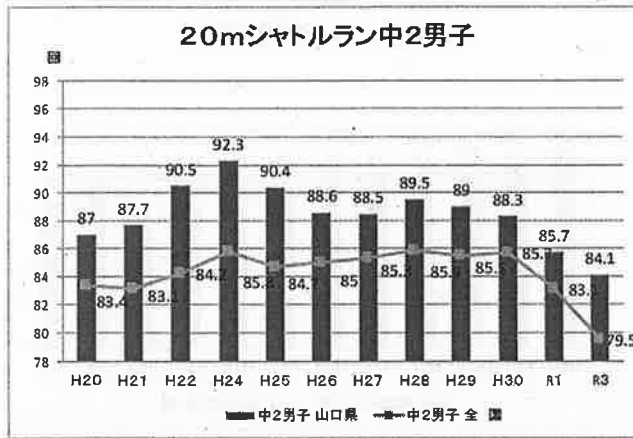
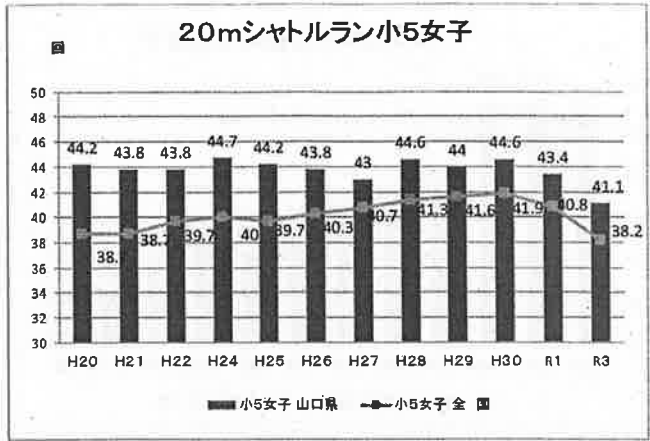
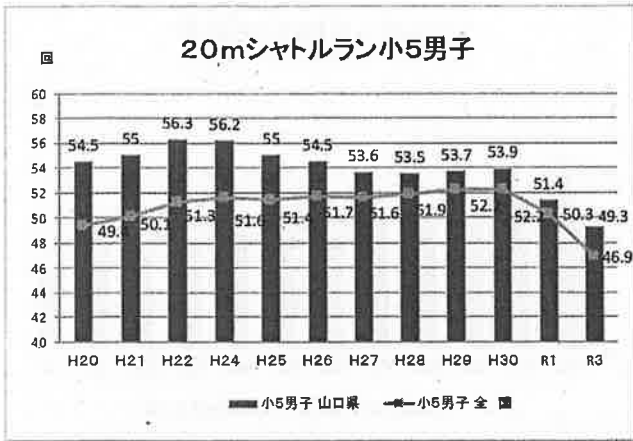
(3) 各種目の主な特徴

- 20mシャトルランは、全ての調査対象学年で全国平均を上回った。
- これまでの課題であった長座体前屈については、小5男子、中2男女が令和元年度の記録を上回り、中2男女は過去最高値を記録した。
- 小5男女、中2女子は、令和元年度と比較して、多くの種目で記録の低下が見られたが、中2男子は、握力、長座体前屈、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げにおいて、令和元年度の記録を上回った。
- 握力、上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、ハンドボール投げについては、全ての調査対象学年で全国平均を下回った。

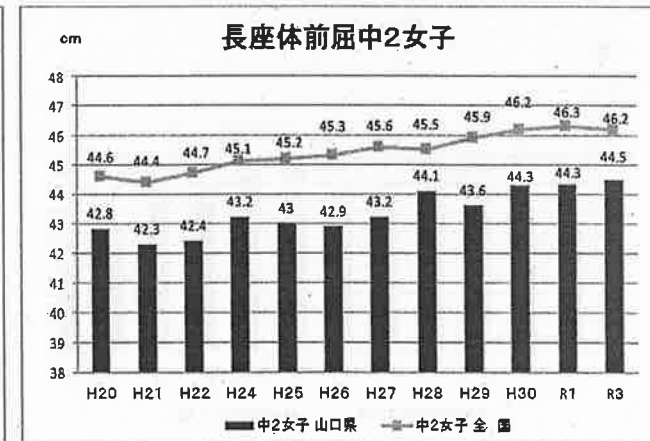
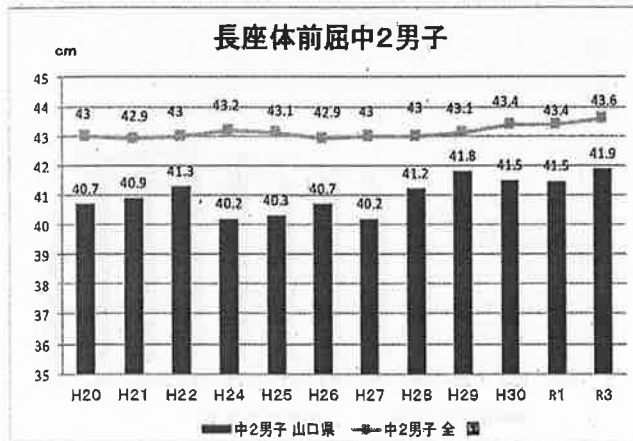
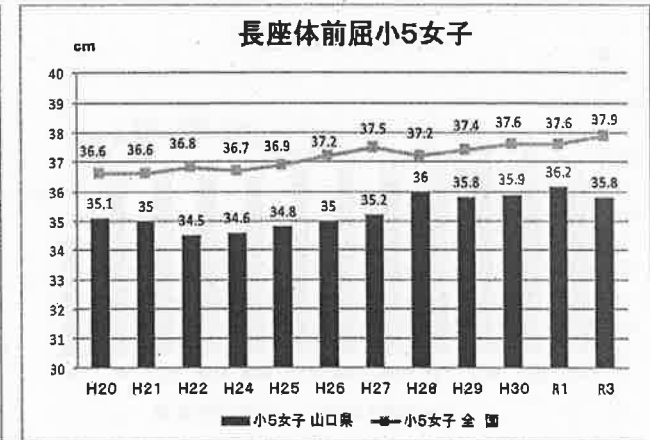
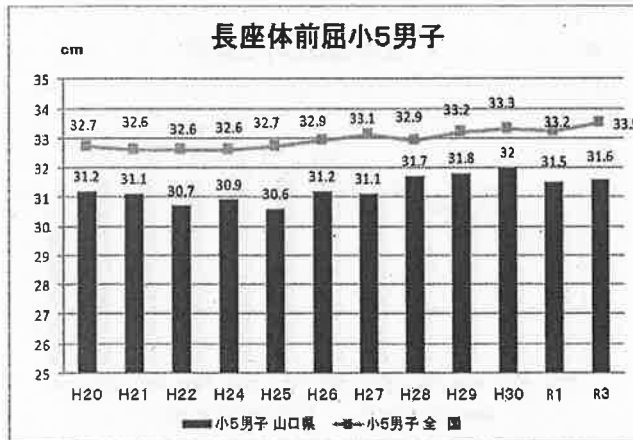
【全国平均を50としたときのT得点による比較】



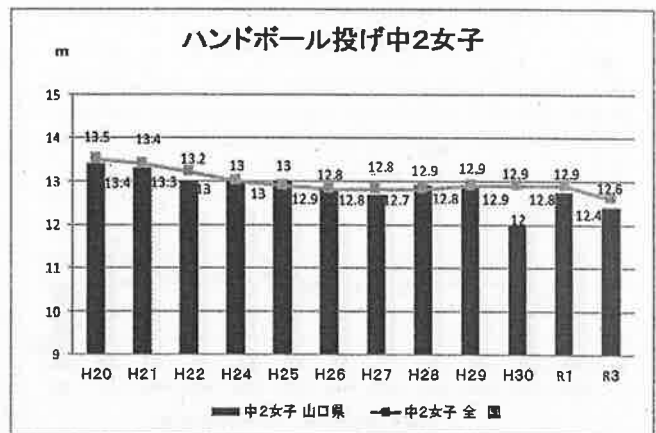
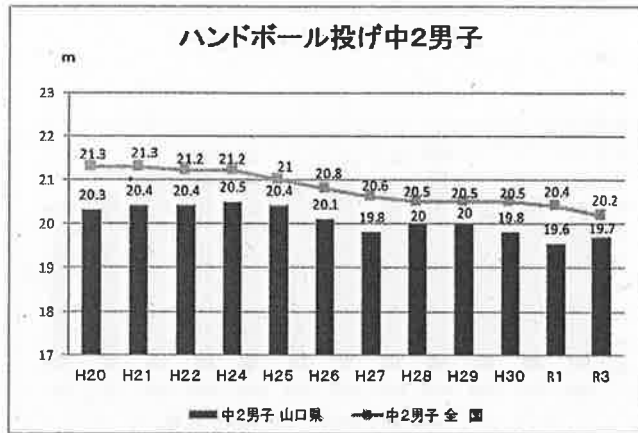
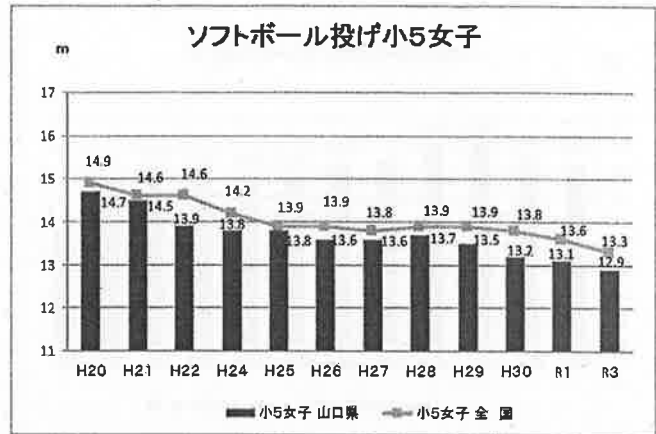
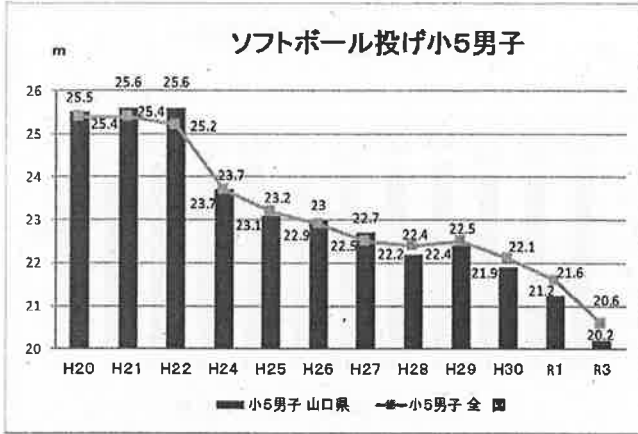
【20mシャトルランの推移】



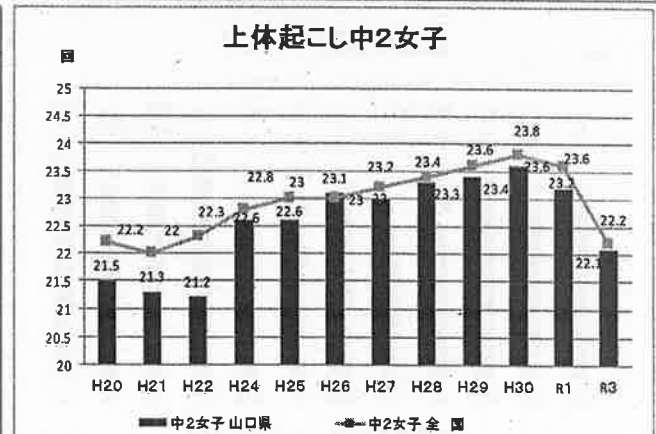
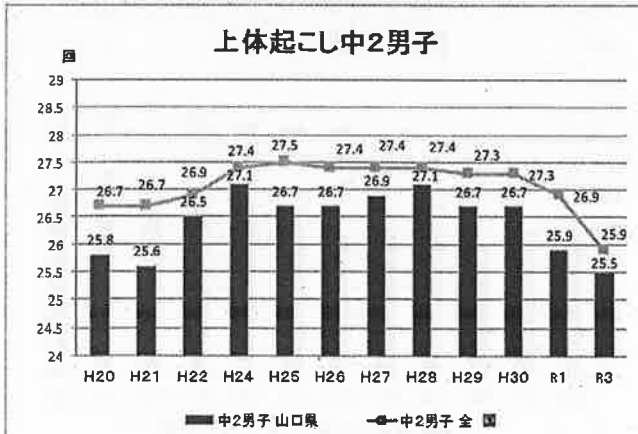
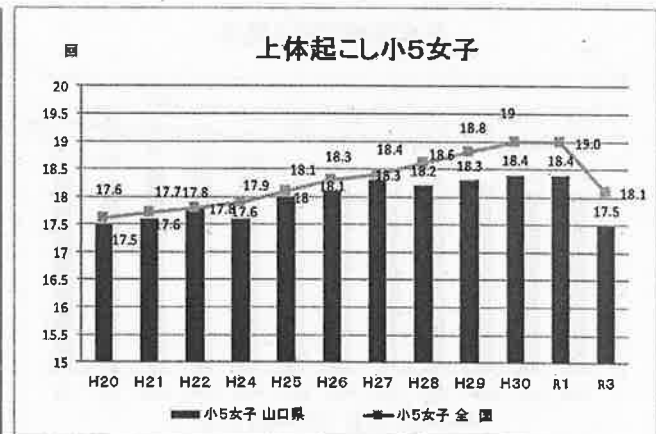
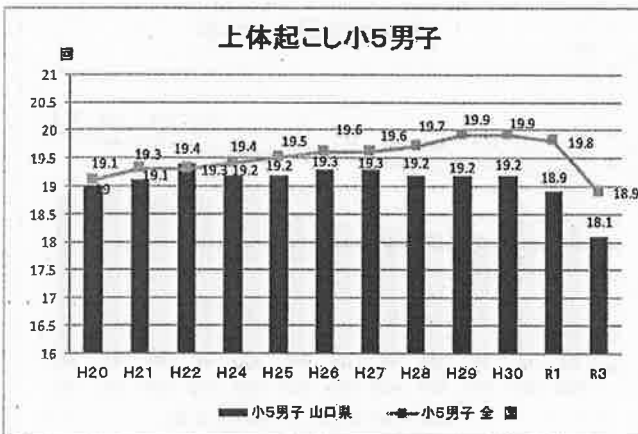
【長座体前屈の推移】



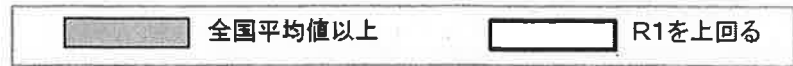
【ボール投げの推移】



【上体起こしの推移】



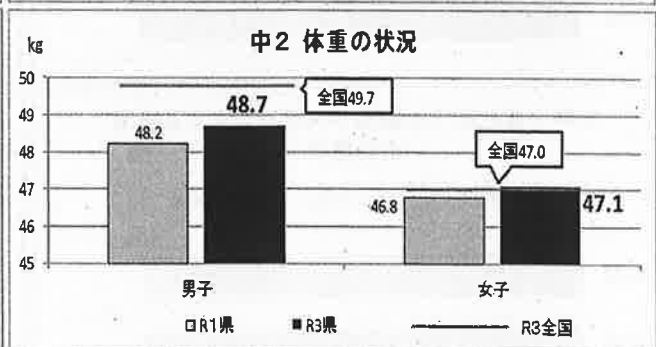
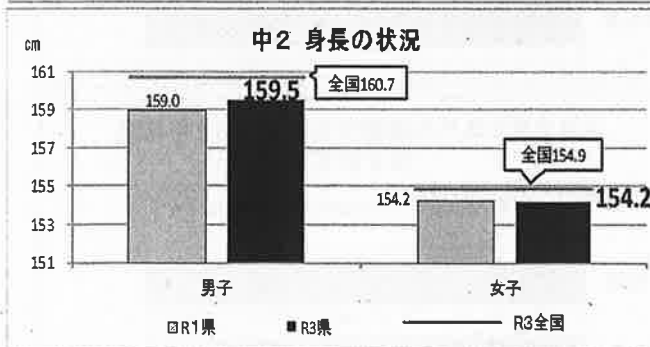
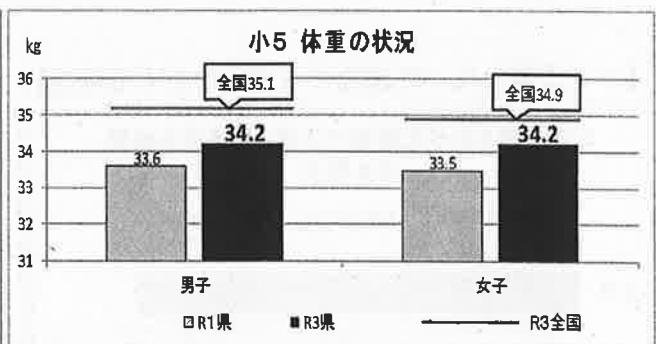
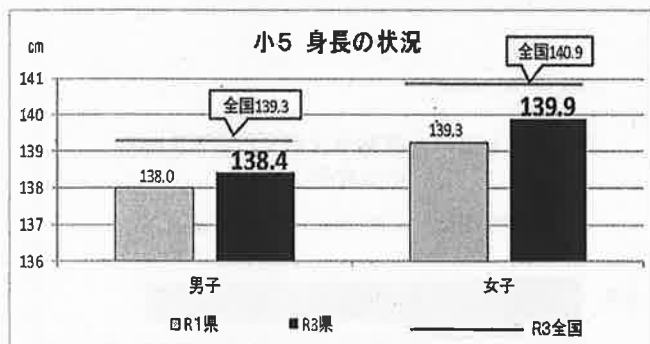
5 児童生徒の体格の状況



校種	性別	区分	身長(cm)	体重(kg)	身長・体重のバランスがとれている児童生徒の割合※1
小学5年生	男	R 1 山口県	138.0	33.6	88.6%
		R 3 山口県	138.4	34.2	86.3%
		R 3 全国	139.3	35.1	84.6%
	女	R 1 山口県	139.3	33.5	90.6%
		R 3 山口県	139.9	34.2	89.3%
		R 3 全国	140.9	34.9	88.7%
中学2年生	男	R 1 山口県	159.0	48.2	89.2%
		R 3 山口県	159.5	48.7	89.0%
		R 3 全国	160.7	49.7	86.9%
	女	R 1 山口県	154.2	46.8	90.2%
		R 3 山口県	154.2	47.1	89.4%
		R 3 全国	154.9	47.0	89.4%

※1 バランスのとれた児童・生徒の割合：全体から、肥満傾向及び痩身傾向の児童・生徒の割合を差し引いた割合

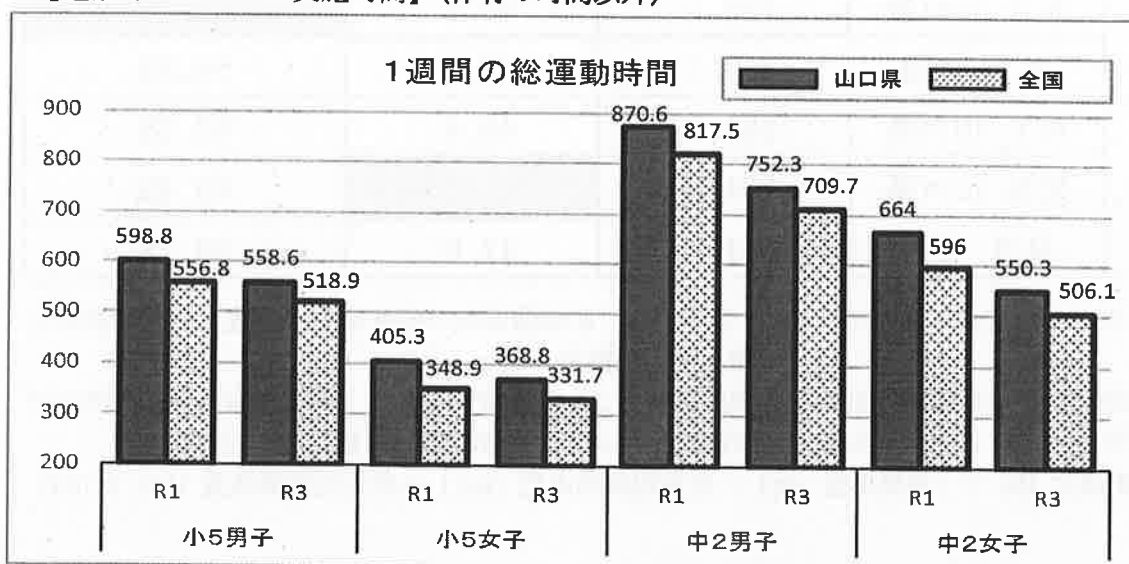
性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度を算出し、肥満度が20%以上が肥満傾向児、-20%以下を痩身傾向児とする。（「児童・生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」（財）日本学校保健会
 (算出式：肥満度(%) = [実測体重(kg) - 身長別標準体重(kg)] ÷ 身長別標準体重(kg) × 100)



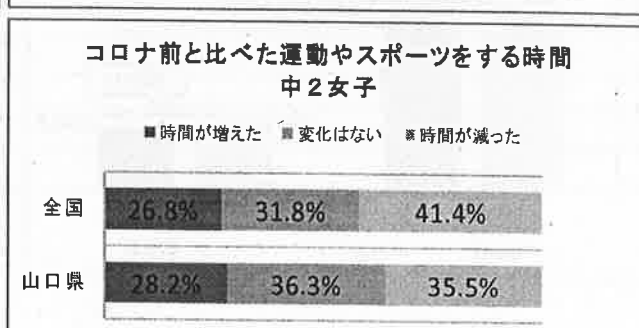
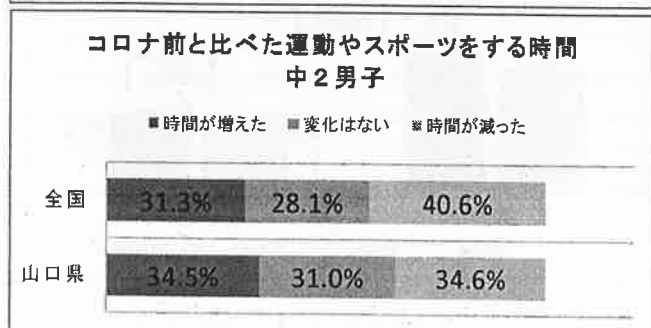
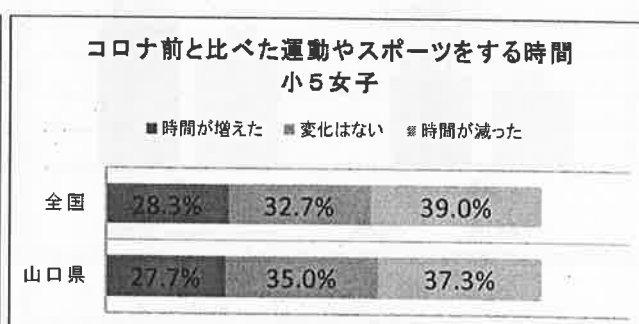
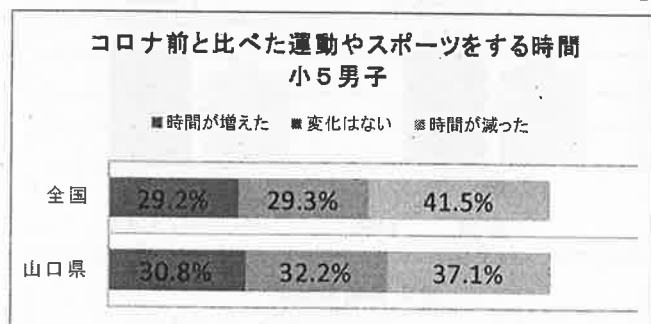
6 運動習慣等の状況

- 1週間の総運動時間は、全ての調査対象学年で全国平均を上回ったものの、全ての調査対象学年で令和元年度を下回った。
- コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間について、全ての調査対象学年で「時間が増えた」と「変化はない」を合わせた割合が全国平均を上回った。また、「時間が減った」と回答した割合は、全ての調査対象学年で全国平均を下回った。
- 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きと回答した割合は、全ての調査対象学年で全国平均を上回った。
- 平日、1日当たりの学習時間以外のスクリーンタイムが3時間以上であった割合は、全ての調査対象学年で、全国平均、本県平均ともに令和元年度を上回った。また、小5男子は、全国平均の割合を上回った。

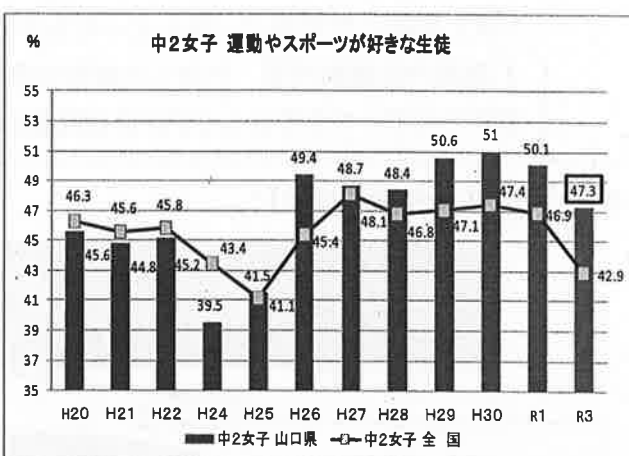
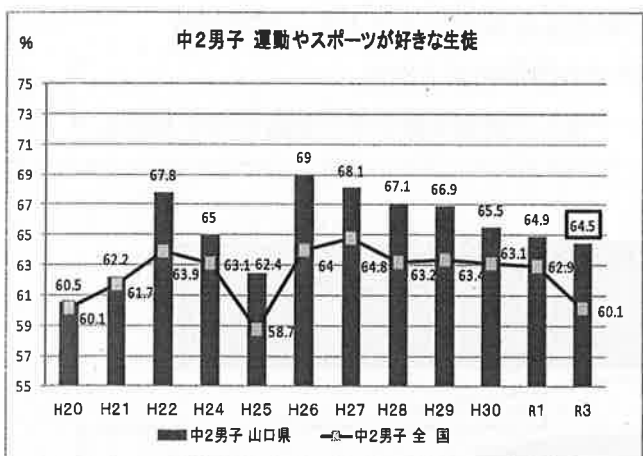
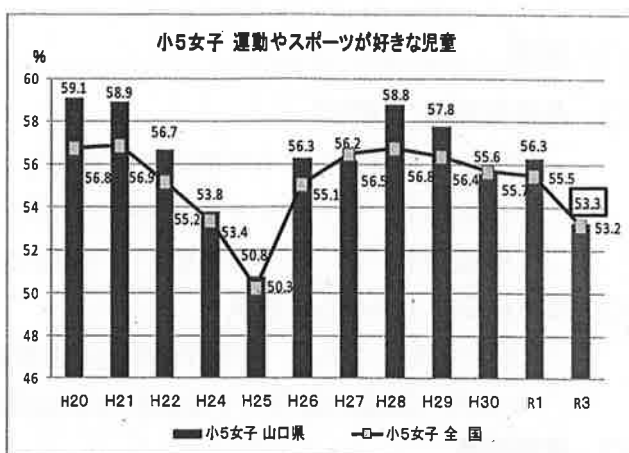
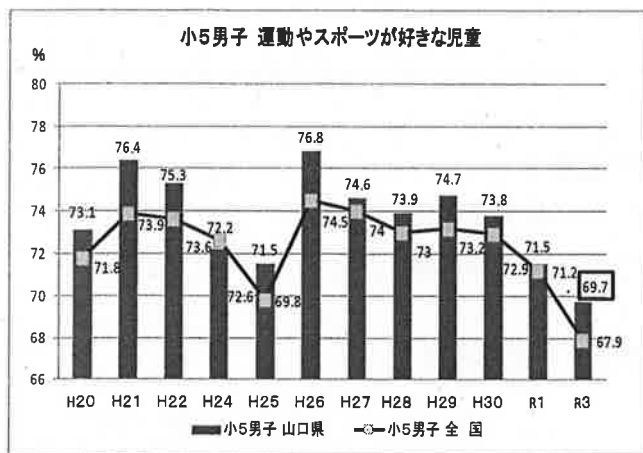
【運動やスポーツの実施時間】（体育の時間以外）



【コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間】

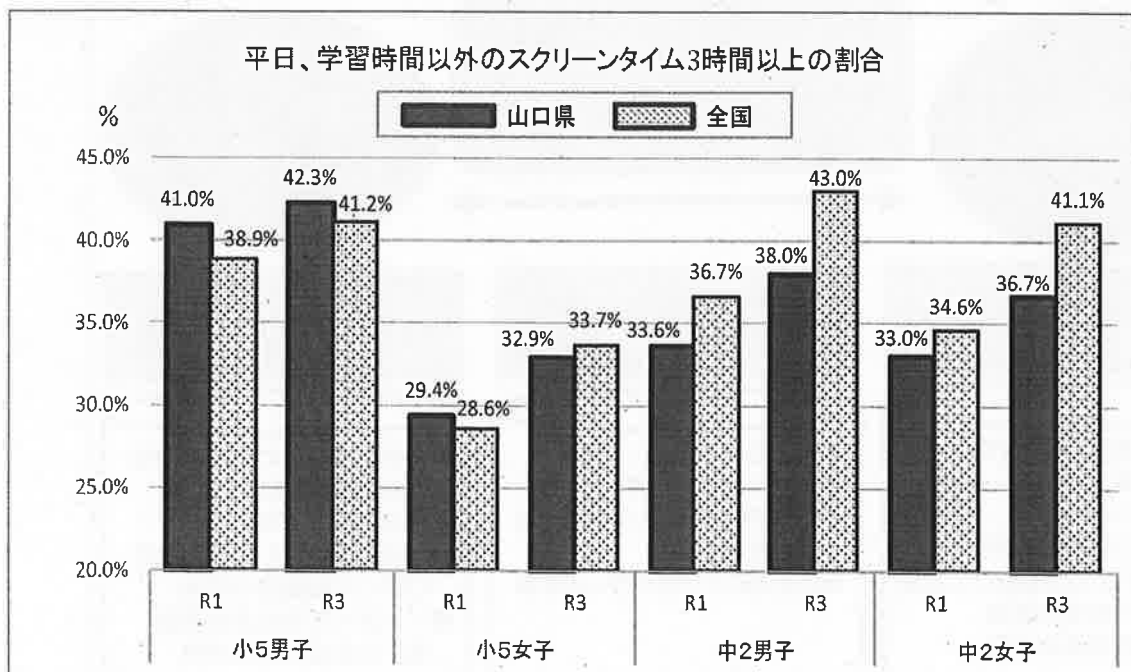


【運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合】



【学習時間以外のスクリーンタイム3時間以上の割合】

※スクリーンタイム・・・平日、1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間



7 今年度の成果と課題及び今後の取組の方向性

(1) 成果

○ 長座体前屈(柔軟性)

・平成28年度からの6年間の取組により一定の成果

〔 小5男子 → H30最高値 ・小5女子 → R1最高値
 中2男子 → R3最高値 ・中2女子 → R3最高値 〕

○ 20mシャトルラン(持久力)

・「1校1取組」など、各学校の特色ある取組により一定の成果

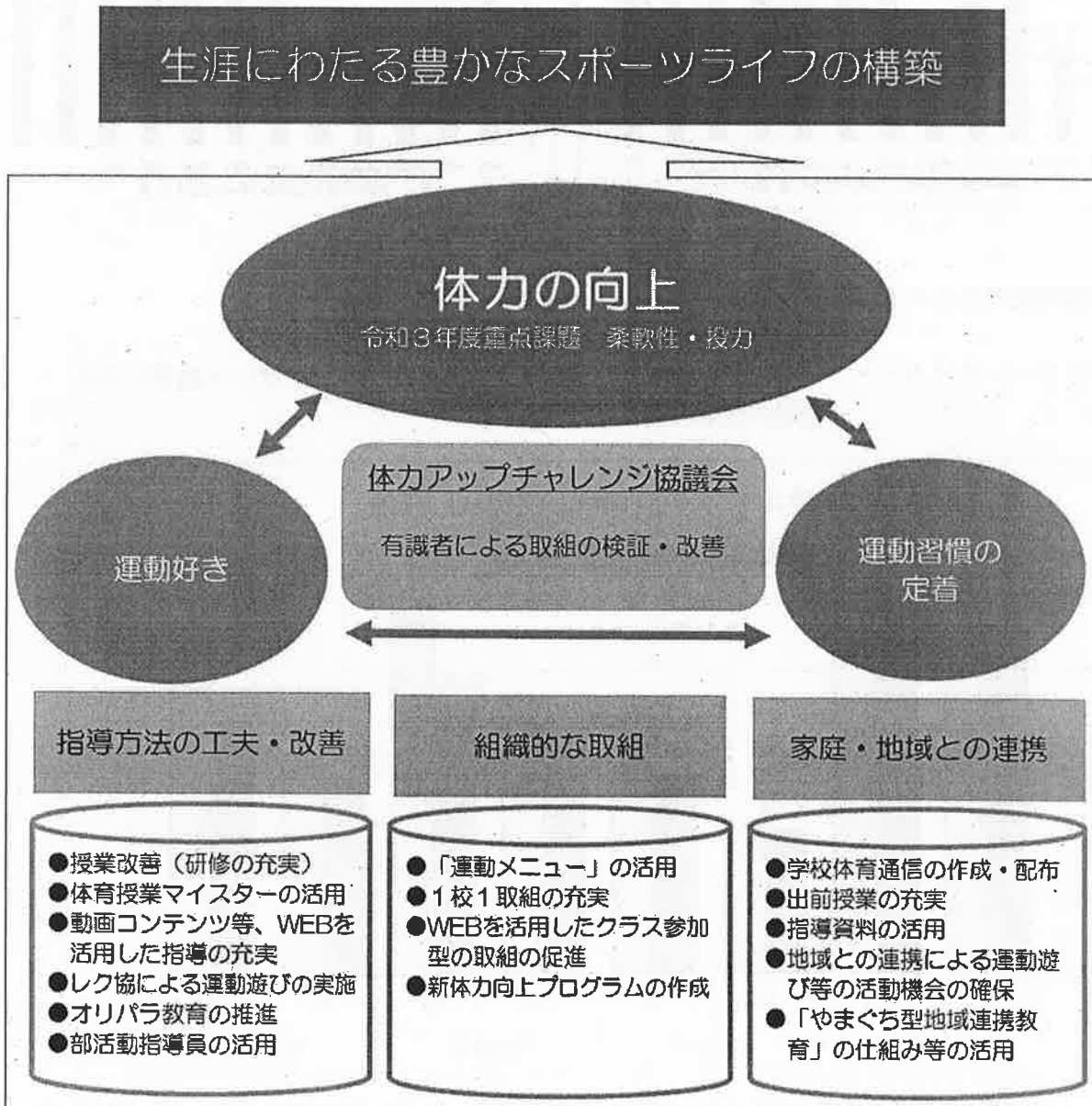
⇒ 全ての調査対象学年で全国平均を上回る。

○ 運動習慣

・「1校1取組」や地域と一体となった各学校の特色ある取組などにより一定の成果

〔 1週間の総運動時間 →全ての調査対象学年で全国平均を上回る。
 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒 →全ての調査対象学年で全国平均を上回る。 〕

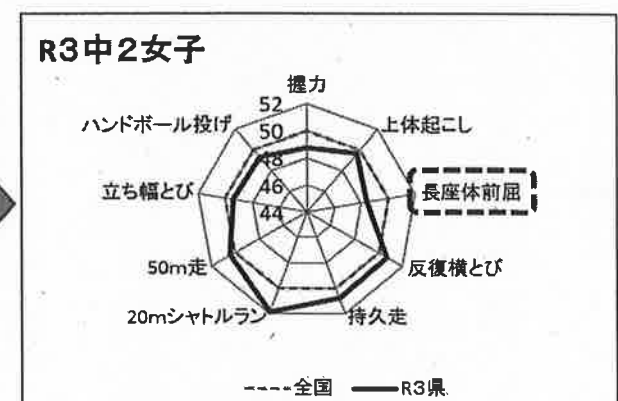
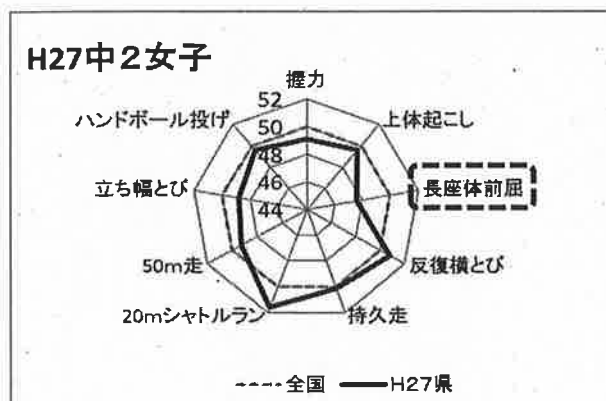
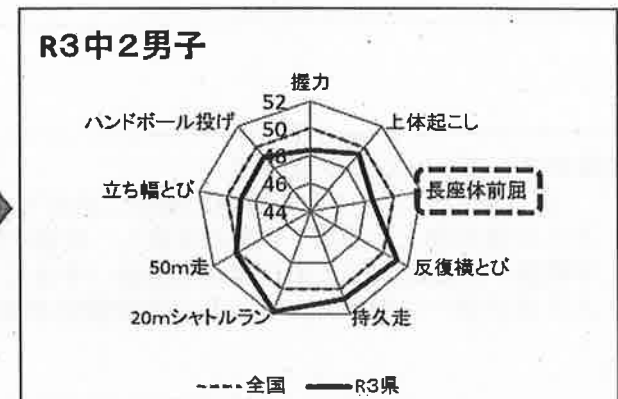
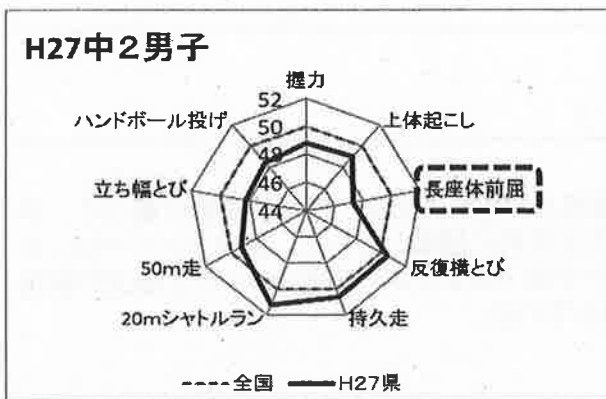
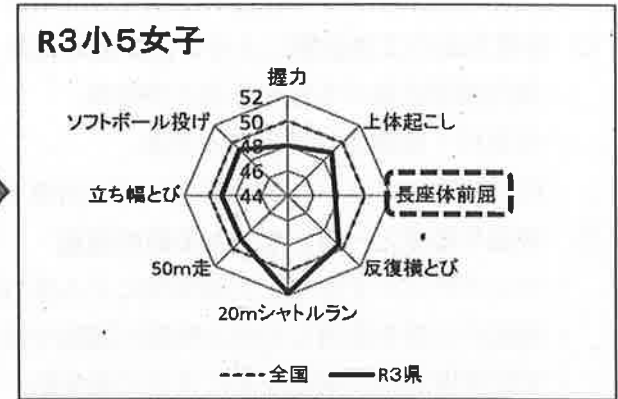
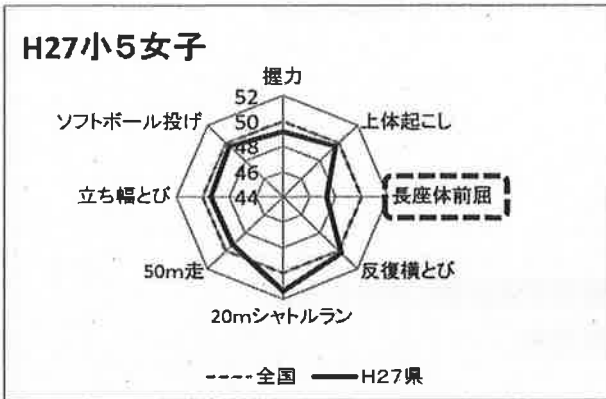
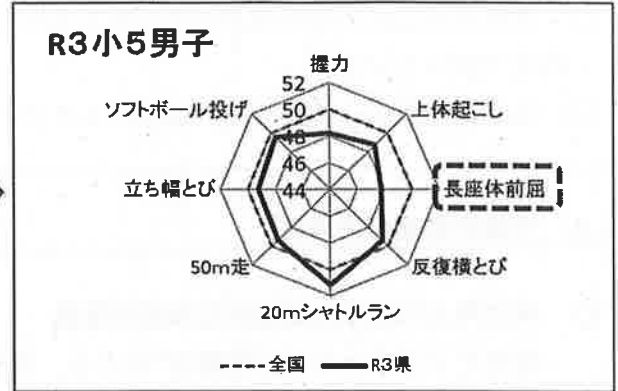
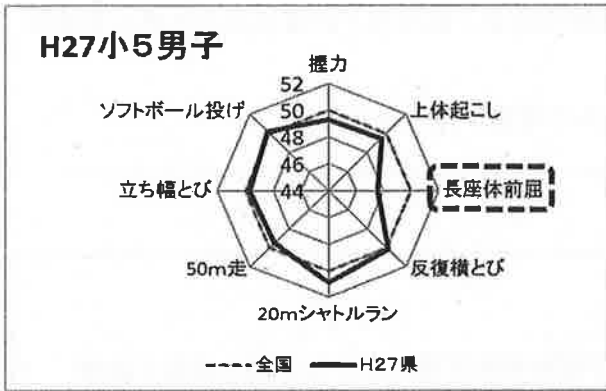
【本県における今年度の取組】



【全国平均を50とした調査種目の平成27年度と今年度の比較】

柔軟性向上に向けた重点的な取組開始前 (H27)

(R3)



(2) 課題

- 体力合計点については、全ての調査対象で、全国平均には届いていない。
- 柔軟性向上に一定の成果は見られたものの、柔軟性や投力、筋力などの項目が引き続き全国平均を下回っている。
- 全国と同様に、運動時間の減少、スクリーンタイムの増加が見られる。

(3) 今後の取組の方向性

- **体力向上に向けた組織的な取組の推進**
 - ・ 体力アップチャレンジ協議会*による、体力向上や運動習慣定着に向けた取組の検証と改善
 - ・ 「体力向上プログラム」の改善と「1校1取組」などの特色ある取組の充実
- **指導方法の工夫改善による学校体育の充実**
 - ・ 実技講習会等の各種研修会の開催等
 - ・ 体育科・保健体育科授業の充実
 - ・ 体育授業マイスター等の派遣による指導力向上
- **家庭や地域と一体となった取組の推進**
 - ・ ウェブサイトを活用した参加型による体力向上や運動習慣改善に向けた取組
 - ・ 地域の人材を活用した休み時間の運動や体育活動の充実
 - ・ 学校体育通信の家庭配布による広報活動

※体力アップチャレンジ協議会

山口県の子どもの体力課題の解決に向けて、専門家等との連携により、科学的根拠に基づく、子どもの体力向上の施策、取組の見直し、改善を図ることを目的に開催している。主なメンバーは、大学教授、公益財団法人山口県体育協会（やまぐちスポーツ医・科学サポートセンター）、独立行政法人日本スポーツ振興センター及び学校関係者等で構成している。

報告事項 2

令和3年度山口県スクールソーシャルワーカー採用選考試験の結果について

1 選考日程

- (1) 募 集 令和3年11月 1日 (月) ～11月22日 (月)
- (2) 第1次選考 令和3年11月26日 (金) ～11月30日 (火) …書類選考
- (3) 第2次選考 令和3年12月19日 (日) …面接試験
- (4) 採用予定日 令和4年 4月 1日 (金)

2 応募・合格者数

応募者	第1次選考試験合格者	最終合格者
2名	2名	1名

【参考】

<職務内容>

山口県教育委員会事務局、やまぐち総合教育支援センターにおいて、県内の県立学校及びその生徒・保護者への支援のほかに、子どもと親のサポートセンターや各市町のスクールソーシャルワーカーに対する指導助言（SV：スーパーバイズ）や、スクールソーシャルワーカー以外のセンター職員に対する専門家としての指導助言等を行うものとする。

具体的な業務内容は以下のとおり。

- スクールソーシャルワーカー人材の育成
- 課題を抱える児童生徒が置かれた環境への働き掛け
- 関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整
- 学校内におけるチーム体制の構築・支援
- 保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供
- 教職員等への研修活動
- 教育相談行政に関すること 等

<応募資格>

次のいずれにも該当する者。

- 昭和37年（1962年）4月2日以降に生まれた者
- 社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師又は臨床心理士の資格を有する者
- スクールソーシャルワーカーとして3年以上の活動実績のある者

